

# 実績報告書

		大阪市住之江区泉1-1-82		ハマダ株式会社 代表取締役社長 濱田 隆司
届出者		住所	氏名	
特定事業者の主たる業種			80娯楽業	
該当する特定事業者の要件			レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者
				大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者
				大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者
事業の概要			大阪市内でゴルフ練習場、遊戯施設、温浴施設、及び、不動産賃貸を行っている。	

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2017年	4月	1日	～	2020年	3月31日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2016 )年度	前年度( 2019 )年度
温室効果ガス総排出量	3,164 t-CO <sub>2</sub>	2,839 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	3,558 t-CO <sub>2</sub>	3,200 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019年度)	第1年度 (2017年度)	第2年度 (2018年度)	第3年度 (2019年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	5.2%	6.1%	10.3%
		削減率(原単位ベース)	5.2%	6.1%	7.5%
削減率(平準化補正ベース)		4.5%	5.8%	7.2%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( 延床面積 )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	
一部建物を解体したため、延床面積が減少している	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>照明設備では、ボウリング場エントランスのLED化を実施した。空調設備では、クラブハウス地階の空調機更新に当たり、集中型から個別空調に変更した。一部建物の解体に合わせ、事務所棟の新設では、LED照明と省エネ型の空調機器を採用した。</p>
<p>従来からの対策を含め、省エネ化が進んだと考えている。</p>

(2) 推進体制

<p>エネルギー管理責任者(社長)を中心に、支配人、業務責任者を含めた定例会議において、実績の把握や対策の決定を行っている。</p>
--

# 実績報告書

届出者	住所	大阪府大阪市北区茶屋町19-19 アブローズタワー19階	氏名	阪急阪神リート投信株式会社 代表取締役社長 白木 義章
特定事業者の主たる業種		69不動産賃貸業・管理業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		阪急阪神リート投資法人保有の賃貸ビル（事務所・店舗）等不動産資産の管理運用等		

## ◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2017 年	4 月	1 日	～	2020 年	3 月 31 日 (3年間)

### (2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2016 )年度	前年度( 2018 )年度
温室効果ガス総排出量	5,407 t-CO <sub>2</sub>	4,461 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	6,003 t-CO <sub>2</sub>	5,074 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

### (3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019 年度)	第1年度 (2017 年度)	第2年度 (2018 年度)	第3年度 (2019 年度)
選択	削減率(排出量ベース)	%	%	%	%
	レ 削減率(原単位ベース)	3.0 %	4.5 %	17.8 %	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0 %	4.1 %	15.8 %	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( 延床面積	)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)		

## ◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

### (1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>2018年度の温室効果ガス削減状況としては、主な事業所の北野阪急ビルでの削減(熱源設備更新によるガス使用量大幅削減、共用部照明LED化による電気使用量削減が要因と推測)が主に寄与し、全体では第2年度で基準年度比17.8%の原単位削減となったものと思料。</p>
---

### (2) 推進体制

<p>大半のビルの管理運営を委託している阪急阪神ビルマネジメント㈱や、他の管理会社においても随時エネルギー使用に対する監視及び削減対策を実施。また阪急阪神ホールディングスグループの一員として、阪急阪神ホールディングス環境委員会の啓蒙活動を推進。</p>
--

## 実績報告書

届出者	住所	大阪市福島区吉野 1-21-14	氏名	株式会社 阪神住建 代表取締役 岩崎 圭祐
特定事業者の主たる業種		69不動産賃貸業・管理業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		分譲事業・賃貸事業・アミューズメント事業・マンション管理事業 再生可能エネルギー事業・社会福祉事業		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2017年	4月	1日	～	2020年	3月31日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2016 )年度	前年度( 2018 )年度
温室効果ガス総排出量	10,179 t-CO <sub>2</sub>	12,072 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	10,792 t-CO <sub>2</sub>	12,927 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019 年度)	第1年度 (2017 年度)	第2年度 (2018 年度)	第3年度 (2019 年度)
選択	削減率(排出量ベース)	%	%	%	%
	レ 削減率(原単位ベース)	3.0 %	-12.8 %	-18.5 %	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0 %	-13.6 %	-19.7 %	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値		( 延床面積 )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)		

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>昨年から続く気温の異常により冷暖房用及び給湯加熱用のエネルギー消費が増大したものと見られます。また、6年前に更新した熱源機器の性能低下と故障が発生も原因と見られます。</p>
--

(2) 推進体制

<p>エネルギー監視委員を増やし機器ごとの運転状況を掌握し省エネを徹底管理します。又、店舗ごとに温暖化防止に関する打ち合わせを行い、省エネに努めます。</p>
---